

子ども心理学科 授業科目概要(2025年度)令和6・7年度入学生

科目区分		必要単位数	教育目標	番号	授業科目名	授業科目概要	担当者 (☆主担当)	実務者教員	履修学年	コマ数	授業時数	単位数	授業形態
指定保育士養成施設科目	教養科目	11	一般教育を重視して、人文・社会・情報の諸科学にわたり豊かな教養と広い識見を備えた人材を育成する。	1	現代倫理	倫理学を基調として現代の青年たちに欠落している面を追及し、「全人教育」に向ける。「生きる」ことの意味を考察させることから、さらに「働く」ことの意味を考えさせる。	齋藤照安	高等学校校長及び専門学校校長としての実務経験	1	30	60	4	講義
				2	英語コミュニケーション	基礎的な文法の復習と会話に使える構文の学習。	小林昌人	学習塾における英語講師として指導した実務経験	1	15	30	2	演習
				3	健康科学	社会人としてのあり方と保育における幼児体育の必要性について学ぶ。	大橋美穂子	日本体操協会指導員として体操教室を開設・指導した実務経験	1	8	15	1	講義
				4	スポーツⅠ	各種スポーツを仲間とともに体験し、技能の上達を図りスポーツの楽しさを味わう。仲間と身体活動を行う中で、自己の体力・健康の保持増進を図る。将来、指導者としての指導法や競技運営について学ぶ。	大橋美穂子	日本体操協会指導員として体操教室を開設・指導した実務経験	1	15	30	1	実技
				5	憲法	憲法の基本原理である「国民主権」、「基本的人権の尊重」及び「平和主義」について学ぶ。	橋野幸男	—	1	15	30	2	講義
				6	情報リテラシーと処理技術Ⅰ	パソコンの基礎知識を習得する。	中村健太郎	IT企業におけるSEとしての実務経験	1	8	15	1	演習
	保育の本質・目的に関する科目	12	保育の基礎である原理原則を学ぶ。	7	保育原理	保育の基本的な考え方やこども観の形成、人格形成の基盤作りをどのように考えるか。保育のねらい、内容、方法を学ぶ。	山本佳郁代	—	1	15	30	2	講義
				8	教育原理	教育の基本概念、理念、歴史及び思想について学び、教育の課題と可能性についての理解を深める。	後藤明子	—	1	15	30	2	講義
				9	こども家庭福祉	現代社会における子ども家庭福祉の意義や歴史の変遷について理解する。また、児童家庭福祉の現状や様々なニーズの理解、障害のある児童への対応、児童虐待防止や人権擁護の重要性を理解する。	後藤明子	—	1	15	30	2	講義
				10	社会福祉論	現代社会における社会福祉の意義・理念・歴史の変遷・法体系・行財政の要旨を理解し、多様化する社会福祉のニーズに対する専門職としての役割や援助方法などを習得する。	後藤明子	介護老人保健施設における社会福祉士・介護支援専門員としての実務経験	1	15	30	2	講義
				11	こども家庭支援論	望ましい保育者となるために、家庭に関する基本的な知識、家庭支援の専門性等について学ぶ。	伊藤知圭子	幼稚園・保育所における幼稚園教諭及び保育士としての実務経験	1	15	30	2	講義
				12	社会的養護Ⅰ	社会的養護の仕組み、各施設の目的、対象とする児童など社会的養護の基礎的な内容について学習し、子どもの権利擁護や保育士の倫理責務の理解を深める。	山本佳郁代	児童養護施設での保育士としての実務経験	1	15	30	2	講義
				13	保育者論	社会は保育者に何を期待しているのかという問いかけに対して、自らの仕事観や人生観をからめながらプロとしての保育者になるための自己の確立を目指す。	杉山有美 後藤明子	幼稚園・保育所における幼稚園教諭及び保育士としての実務経験	3	15	30	2	講義
	保育の対象の理解に関する科目	9	子どもを側面的に理解するために、心理・保健・食(栄養)について学ぶ。	14	発達心理学	乳幼児期を中心とした子どもの心身の発達に関する心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。	吉田哲也	—	1	15	30	2	講義
				15	こどもの発達と家庭支援	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性や発達課題等について理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。	杉山有美	幼稚園・保育所における幼稚園教諭及び保育士としての実務経験	1	15	30	2	講義
				16	こどもの理解と援助	保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。	大川美佐子	教育カウンセラーとしての実務経験	2	8	15	1	演習
				17	こどもの保健	子どもの成長過程を安全に、より健康的に手助けするために、子どもの発育や身体的特徴を理解し、子どもへの接し方について総合的に学習する。	杉浦美恵子	子ども病院における看護師としての実務経験	2	15	30	2	講義
				18	こどもの食と栄養	健康な生活の基本としての食生活の意義及び基本的知識を学び、子どもの発育発達に合わせた食生活とその意義実践について理解する。	伊藤知圭子	保育所における調理士としての実務経験	2	15	30	2	演習
	保育の内容・方法に関する科目	22	乳幼児を適切な環境の下で活動できるための養護の内容およびその心身を健全に発達するように教育する方法について学ぶ。	19	教育課程論	幼児教育・保育における教育課程・保育課程の意義と役割を明らかにする	井上充子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	2	15	30	2	講義
				20	保育内容総論	保育所や幼稚園における「保育」の全体構造について理解し、各領域を総合的に捉え、保育の流れを概観し、保育実践と結びつけながら学ぶ。	杉山有美	幼稚園・保育所における幼稚園教諭及び保育士としての実務経験	2	8	15	1	演習
				21	こどもと健康	子どもの健康を守り育てるためには、保育面でのどのような内容で指導・援助するのが効果的かについて学び、個々の健康状態を評価する能力を養う。	山本佳郁代	—	2	8	15	1	演習
				22	こどもと人間関係	「保育者として向き合う人との関係」に目を向け、人との協働について考え「保育内容における人間関係」についての基礎の習得を目的とする。	井上充子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	1	8	15	1	演習
				23	こどもと環境	園生活を通して子ども達が豊かな自然体験や様々な実体験を積み重ねていけるようにするためには、園内外の環境をどう構成し、どのように出会うようにしていけばよいか、自分自身が体験し学ぶ。	山本佳郁代	保育所および児童養護施設での保育士としての実務経験	2	8	15	1	演習

科目区分		必要単位数	教育目標	番号	授業科目名	授業科目概要	担当者 (☆主担当)	実務者教員	履修 学年	コマ数	授業 時数	単位数	授業 形態
				24	こどもと言葉	乳幼児期の言葉の発達過程を理解することを目的とし、保育現場で実践的な活動を想定し、指導計画を立て考察する。	井上充子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	1	8	15	1	演習
				25	こどもと造形表現	乳幼児を含めたこどもの造形の指導援助者として、子どもの発達と保育の中で取り扱う教材に必要な知識と材料・用具の操作体験など実践学習を行う。	廣瀬絵美	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	2	8	15	1	演習
				26	こどもと音楽表現	保育の現場で必要な基本的なピアノ奏法の取得を目指して、幼児歌曲などの弾き歌いを用いて学ぶ。	杉山有美	幼稚園における幼稚園教諭として音楽指導の実務経験	1	15	30	2	演習
				27	こどもと造形	幼児造形の指導・援助者として形や色等の造形の基本的な理論を学習しながら、実際にそれらについてテーマを基に色彩分割および構成学習を行う。	廣瀬絵美	幼稚園における幼稚園教諭として造形指導の実務経験	2	8	15	1	演習
				28	表現とこどもの運動	こどもの表現遊びや運動が年齢に応じて展開されていく事を理解し、表現遊び運動の実践例からイメージを膨らませ、安全に楽しく表現遊びが展開できる知識及び実践力を理論的に深める。	廣瀬絵美	—	2	8	15	1	演習
				29	こどもと身体表現	自己表現活動を通して、自己表現における言語的・身体的要素への認識形成とグループワークなどによる人間関係形成力の育成をめざす。	廣瀬絵美	幼稚園における幼稚園教諭として身体表現の実務経験	1	15	30	2	演習
				30	乳幼児保育Ⅰ	基本的な理念や現状、体制などの理解を深めた上で、具体的な保育の方法や環境の構成等を学ぶ。	杉山有美	幼稚園・保育所における幼稚園教諭及び保育士としての実務経験	1	15	30	2	講義
				31	乳幼児保育Ⅱ	3歳未満児の集団保育における安全や心身の健康管理への配慮について学ぶ	杉山有美	幼稚園・保育所における幼稚園教諭及び保育士としての実務経験	3	8	15	1	演習
				32	こどもの健康と安全	小児の健康について理解し、保育現場で保健活動が実践できる知識と技術を身に付ける。	杉浦美恵子	子ども病院における看護師としての実務経験	3	8	15	1	演習
				33	障害児保育	障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、子どもの理解や援助の方法等および障害のある子どもの保育計画作成などの保育実践について理解を深める。	後藤明子	障がい者支援施設における生活指導員としての実務経験	2	15	30	2	演習
				34	社会的養護Ⅱ	児童の権利擁護と保育士の倫理責務、具体的な援助内容や支援方法を事例を通して学ぶ。	山本佳郁代	児童養護施設における保育士としての実務経験	2	8	15	1	演習
				35	子育て支援	保育相談支援や保育者支援の実践について事例をもとに学び、内容や方法について理解を深める。	杉山有美	保育所における子育て支援としての実務経験	3	8	15	1	演習
保育実習（必修科目）	12		児童の生活する福祉施設について学習し、その生活の実践に参加し、保育支援の在り方について見識を深めるよう目指す。	36	保育実習Ⅰ（保育所）※未履修者は選択科目を履修	自ら学んだ保育の知識、技術を基礎として、それらを総合的に実践する応用力を養う。	杉山有美	保育所における保育士としての実務経験	2		80	2	実習
				37	保育実習Ⅰ（施設）※未履修者は選択科目を履修	児童福祉施設等の生活に参加し、子どもへの理解を深めるとともに、児童福祉施設等の機能とそこでの保育士の職務について学ぶ。	山本佳郁代	保育所および児童養護施設での保育士としての実務経験	2		80	2	実習
				38	保育実習指導Ⅰ（保育所）	保育所実習にあたりその知識と心構えを学ぶ。理論と実践を結びつけて具体的に現場を知ること重点を置き、保育の意義を知り、乳幼児の特性を理解し、実習に生かせる知識・技術を学ぶ。	杉山有美	保育所における保育士としての実務経験	1	15	30	2	演習
				39	保育実習指導Ⅱ（保育所）	理論と実践を結びつけて、具体的な事例をもとに子どもとの関わり方や援助方法などを学ぶ。乳幼児の特性の理解を深め、知識・技術を学ぶ。	杉山有美	保育所における保育士としての実務経験	2	15	30	2	演習
				40	保育実習指導Ⅰ（施設）	児童福祉施設の保育士とはどのようなのか、施設保育士の役割は何か等、保育士として必要な知識や倫理観を習得する。	山本佳郁代	児童福祉施設における保育士としての実務経験	2	30	60	4	演習
総合演習	2		これまでの学習知識と実践知識との統合を図り、総合的な実践的指導力を身に付ける。	41	保育実践演習	これまでの学習知識と実習等で得られた実践知と統合を図り、使命感や責任感のある実践的指導力を身に付ける。	山本佳郁代	保育所および児童養護施設での保育士としての実務経験	3	15	30	2	演習
保育に関する科目（選択必修科目）	18		保育者として必要な規範意識の習得および表現科目の充足さらに保育士資格に必要な実習科目を通じた実践力の強化を目標とする。	42	教職論	望ましい教職者（保育者）とは何かを希求しその実現のために何を学び理解し身に付けなければならないかを主要なテーマにする。	山本佳郁代	—	2	15	30	2	講義
				43	特別支援教育	特別な教育的ニーズのある子どもの生活等における困難を理解し、特別な教育的にニーズに対して関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。	後藤明子	—	2	8	15	1	講義
				44	こどもの理解と相談支援	幼児・児童・生徒を対象にした現場における相談支援に重点を置き、発達と成長の基礎理論生活指導しつけ学習適応等について学ぶ。	杉山有美	保育所における子育て支援の実務経験	2	15	30	2	演習
				45	教材研究Ⅰ・Ⅱ	保育教材の研究の仕方を理解し、保育のねらいや活動にふさわしい教材を選択する力を身に付ける。また、保育教材の開発を考察する。	廣瀬絵美	—	1 2	30	60	4	演習
				46	こどもと体育	子どもの発達発達に則した運動遊びの指導法を身に付ける。	大橋美穂子	日本体操協会指導員として体操教室を開設・指導した実務経験	2	8	15	1	演習
				47	ピアノ技術Ⅰ	保育の現場で役立ち技術や表現力の習得を目標とする。	廣瀬絵美	幼稚園における幼稚園教諭として音楽指導の実務経験	2	15	30	2	演習

科目区分		必要単位数	教育目標	番号	授業科目名	授業科目概要	担当者 （☆主担当）	実務者教員	履修 学年	コマ数	授業 時数	単位数	授業 形態	
教職専門科目（幼児科目）			45		48	ピアノ技術Ⅱ	保育の現場で使われている曲を知り、年齢や季節、行事に合わせた音楽を子どもたちに表現できるようにする。	廣瀬絵美	幼稚園における幼稚園教諭として音楽指導の実務経験	3	15	30	2	演習
					49	保育実習Ⅱ（保育所）または保育実習Ⅲ（施設）※米屋修曹は選択科目を履修	学んだ知識・技術を基礎として、それらを総合的に実践する応用力を養うよう、保育の理論と実践の関係について習熟させる。	杉山有美	保育所における保育士としての実務経験	2	40	80	2	実習
					50	保育実習指導Ⅲ（保育所）または保育実習指導Ⅱ（施設）	今までの実習を踏まえ、乳幼児の理解を深め、保育士に求められる資質、能力、技術に照らし合わせ、自己の課題を明確にし、課題を克服する。	山本佳郁代	保育所および児童養護施設での保育士としての実務経験	2	15	30	2	演習
				51	情報リテラシーと処理技術Ⅱ	パソコンの基礎知識を習得した上で、情報機器を実際に操作し、活用できる能力を身につける。	中村健太郎	IT企業におけるSEとしての実務経験	1	8	15	1	演習	
				52	教育心理学Ⅰ	学習・発達・人格・教育評価など教育心理学の基礎的知識の習得を目指すしていく。	吉田哲也	—	1	8	15	1	講義	
				53	教育心理学Ⅱ	現代に生きる子どもたちの教育に関して心理学の観点から考察を深め、基礎的知識をもとに専門家として保育実践に生じていける力量の担保を目的とする。	吉田哲也	—	1	8	15	1	演習	
				54	こどもの指導法「健康」	子どもの健康を守り育てるためには、実際の保育面で子どもの発達をどのように捉え、指導し援助するのが効果的なのか等を学ぶ。	杉山有美	保育所における保育士の実務経験	2	8	15	1	演習	
				55	こどもの指導法「人間関係」	子どもたちを取り巻く「人間関係」のあり方や領域「人間関係」のねらいや内容の理解を深めるとともに、様々なかわりごとをおした人間関係の発達について実践のエピソードを取り上げ解説していく。	井上充子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	1	8	15	1	演習	
				56	こどもの指導法「環境」	「環境を通して行う」とい特性を踏まえ、子どもを取り巻く環境とそこかわりについて実践的に学ぶ。	田中美幸	大学・短大における科目を指導した実務経験	2	8	15	1	演習	
				57	こどもの指導法「言葉」	乳幼児期の言葉の発達過程を理解することを目的とし、言葉を用いて思考し、人に話そうとする意欲、他人の話を聞く姿勢などについて理解する。	井上充子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	1	8	15	1	演習	
				58	こどもの指導法「リズム表現」	保育内容を理解し、表現遊びを展開するために必要な知識や技術を表現領域から見出し、保育指導法を修得していくことを目的とする。また、こどもの表現の指導援助者として、保育内で扱う教材について必要な知識も併せて修得する。	三ツ井由美子	幼児リトミック講師としての実務経験	1	8	15	1	演習	
				59	こどもの指導法「造形表現」	保育の内容を理解し、乳幼児を含めた子どもの造形の指導援助者として、子どもの発達と保育の中で取り扱う教材に必要な知識と材料・用具の操作体験など実践学習を通して学ぶ。	山本宗平	画家として個展開催等の実務経験	2	8	15	1	演習	
				60	こどもの指導法「音楽表現」	領域「表現」の目標を理解するとともに、音楽を通した様々な表現活動の在り方や実践の方法を具体的に理解する。	小関宏美	高等学校・専門学校にて音楽科目担当をするなどの実務経験	1 2 3	15	30	2	演習	
				61	こどもの指導法「言語表現」	言語表現に利用できる児童文化財の作成を試みる。表現演習を通して言語表現活動の指導法を身に付ける。	井上充子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	2	8	15	1	演習	
				62	こどもと音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	ピアノ技術や表現の獲得を目指す。 （Ⅰ到達目標：～バイエル90番） （Ⅱ到達目標：～ブルグミュラー14番） （Ⅲ到達目標：～ブルグミュラー20番）	杉山有美 山本佳郁代 廣瀬絵美	幼稚園における幼稚園教諭として音楽指導の実務経験	1 2 3	45	90	6	演習	
				63	造形表現論	乳幼児を含めた子どもの造形の指導援助者として、保育の中で取り扱う教材に必要な知識や技能の習得を目的とする。	廣瀬絵美	幼稚園教諭としての造形指導の実務経験	1	8	15	1	演習	
				64	健康論	乳幼児の心身の発達基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての理論的学習を行う。	山本佳郁代	保育所および児童養護施設での保育士としての実務経験	2	8	15	1	講義	
				65	人間関係論	現在のこどもの人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児（保育）教育で保証すべき教育内容に関する知識を身に付ける。こどもの人間関係を考察し、乳幼児が人との関わりを通じて育つことを理解する。	井上充子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	1	8	15	1	講義	
				66	環境論	環境を通して行う保育の意味を理解し、保育者自身が保育環境をデザインする力を身に付ける。	山本佳郁代	保育所および児童養護施設での保育士としての実務経験	2	8	15	1	講義	
				67	音楽表現論	領域「表現」における音楽表現に視点を置き、子どもが遊びや生活の中で、子どもの素朴な表現を見出し、受け止め共感することができる保育者としての感性を養う。	杉山有美	幼稚園・保育所における幼稚園教諭及び保育士としての実務経験	1	8	15	1	講義	
				68	言葉とこどもの文化	領域「言葉」を踏まえた上で、児童文化財がこどものことばの習得にどのように役立つのかを理解し、保育の現場で利用される絵本、紙芝居、おはなし等の児童文化財を利用した言葉の理解を目的とする。	井上充子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	1	8	15	1	講義	
				69	教育方法論	教育方法の定義、意義、守備範囲の概念についての基本的知識を習得し、教育（保育）現場における様々な課題を解決する教育（保育）方法とその活用についての理解を深め、保育者として必要な資質を養う。	伊藤知圭子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	2	15	30	2	講義	
				70	教職実践演習Ⅰ	これまでに形成された資質・能力を確認し、これからの自己の課題の自覚と克服に努める。	井上充子	幼稚園における幼稚園教諭としての実務経験	3	8	15	1	講義	

